

「令和4年度いわて新農業人チャレンジファーム第5回研修を開催しました！」

第5回の研修は、令和4年5月27日(金)、28日(土)に、雫石町南畑のコテージむらで行いました。

講義は、野菜の種と育苗、防虫・防鳥対策、農薬散布、農業用廃プラスチックの適正処理、さつまいもの栽培でした。

実習は、大玉トマトへの薬剤散布、セルトレイを使って育苗するための種とかん水、さつまいもの定植でした。

農業用廃プラスチックの適正処理では、農業者は法律に基づいて適正に処理することが必要であり、岩手県での取組や雫石町での回収事業の内容について学びました。

薬剤散布の実習では、講義で学んだとおりに散布液を作り、安全に留意して、電動噴霧器で散布しましたが、葉の裏に十分にかかるようにするのが、難しかったようです。

セルトレイへの種では、育苗培養土を詰め、左官こてを使って平らにした後、は種、覆土、かん水までの作業を行いました。

受講生は、端までしっかりと土を充填したこと、セルの格子が見えていることなどを確認してから、土や種を流さないように、最初と最後に気を付けながら、丁寧にかん水しました。かん水後のセルトレイを持ち上げて、重さを確かめている方もいました。

さつまいもの定植では、初めて苗を見たとか、竹棒を使って苗を垂直に挿す「直立植え」という方法に驚きながら、苗を折らないように慎重に挿し込んでいました。

第6回の研修は、6月10日(金)、11日(土)に同会場で、「農作業安全(刈払機の正しい使い方)」の講義と実習を行う予定です。



種袋の見方などについて学ぶ様子



セルトレイには種する様子



大玉トマトに薬剤を散布する様子



さつまいもを定植する様子